

# 剣 道

- 1 主 催 新潟県中学校体育連盟
- 2 共 催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 上越市教育委員会 (公財)新潟県スポーツ協会  
(一財)上越市スポーツ協会 (一財)新潟県剣道連盟 新潟日报社
- 3 主 管 上越地区中学校体育連盟 上越市中学校体育連盟
- 4 後 援 上越市 (一財)上越市スポーツ協会
- 5 期 日 令和4年7月16日(土)・17日(日)
- 6 日 程 (1)7月16日(土) 第1日目 団体戦  
開場 7:00  
役員代表者会議 8:15  
競技開始 女子団体戦(決勝まで) 9:00  
女子団体戦表彰 12:30  
男子アップ 12:30~13:20  
競技開始 男子団体戦(決勝まで) 13:30  
男子団体戦表彰 17:00  
(2)7月17日(日) 第2日目 個人戦  
開場 7:00  
役員代表者会議 8:15  
競技開始 女男個人戦 9:15  
個人戦表彰 13:30  
※開閉会式は行いません。
- 7 会 場 謙信公武道館(新潟県立武道館)  
〒943-0716 上越市戸野目古新田375(上越総合運動公園内)
- 8 競技種目 (1)男子:団体戦・個人戦  
(2)女子:団体戦・個人戦
- 9 参加資格 (1)団体戦:各地区で選抜(男子:上5・中9・新13・下5、女子:上4・中9・新14・下5)された32チーム。  
(2)個人戦:各地区で選抜(男子:上11・中17・新28・下8、女子:上8・中18・新28・下10)された64名。  
※他競技で県大会(夏季大会)へ出場する選手は、出場できない。
- 10 競技規則 (公財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」および令和4年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項による。さらに、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判の方法として、以下を含めた試合・審判方法とする。  
令和2年8月27日 全日本剣道連盟発  
『主催大会実施にあたっての感染予防ガイドライン【暫定的な試合・審判の方法】』  
令和3年10月1日 日本中学校体育連盟剣道競技部長発  
『全剣連発出「主催大会実施にあたってのガイドライン」を受けての試合・審判に関する統一事項』  
令和3年 2月  
『全剣連発出「主催大会実施にあたってのガイドライン」を受けての試合・審判に関する統一事項』解説映像(DVD)  
令和4年4月3日 全日本剣道連盟発

『新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法』

(1) 試合方法

①団体戦

ア トーナメント方式で優勝、2位、3位を決定する。また、3位同士による北信越大会出場決定戦を実施する。

イ 決勝戦まで、試合は3本勝負、時間は3分、勝負の決しない場合は引き分けとする。

ウ 勝者(チーム)が決しない場合は、任意の代表者による代表者戦を1本勝負、時間は3分、勝敗が決しない場合は、延長を2分ずつ区切って行い、勝敗が決するまで行う。この場合の任意の代表者については、補員を含めた登録選手7名の中から代表者を選び、再出場を認める。

②個人戦

ア トーナメント方式で順位を決定する。5位同士による北信越大会出場決定戦を行う。

イ 3分3本勝負、勝敗が決しない場合は、勝敗が決するまで延長戦を2分ずつ区切って行う。

**※延長戦については、熱中症への対応を考慮し2分ずつ区切って以下のように行う。**

試合時間3分 ⇒ 延長2分⇒ 延長2分⇒ 【小休止(深呼吸をする程度)】 ⇒  
 ⇒ 延長2分⇒ 延長2分⇒ 【面を外しての休息・給水(3分)】 ⇒  
 ⇒ 延長2分⇒ 延長2分⇒ 【小休止(深呼吸をする程度)】 ⇒  
 ⇒ 延長2分⇒ 延長2分⇒ 【面を外しての休息・給水(3分)】 ⇒  
 ⇒ 試合の続く限り繰り返す

(2) 特別規定

①出場選手は、下記の要領で布製の名札を着用する。黒または紺地に白文字とし、学校名・氏名を明記する。着用していない選手は、出場を認めない。

○○中	← 学校名に(中)を入れる。
佐	← 姓(縦書き白文字)
藤泰	← 同姓がいる場合は名前の頭文字を書く。

②試合者は、「面マスク」と「マウスシールド」の着用を義務付ける。「面マスク」の着用の際は、口と鼻を必ず覆うこととする。目を覆うシールド(アイシールド)の使用については、各選手の判断とする。

③化学繊維竹刀の使用を認める。

④アイガード・ポリカーボネイト面の使用を認める。

(3) 選手変更

団体戦の選手変更については①②の通りである。個人戦については、選手変更はできない。

①選手の補充登録

ア 申し込み以降に、けが・病気等の理由により、出場できない選手・補員が生じた場合には、その選手・補員の登録を抹消し、新たに補員の補充をすることができる。この場合には、監督会議の席上で許可を得ること。

イ 選手を変更する場合は、補員からとする。

②補員の起用

ア 補員を起用する場合は、選手変更を試合前までに試合場係に届けること。

イ 補員の起用は、交代者の位置とする。交代者の再出場は認めない。

ウ 上記『イ』により、補員を使い切った後に選手の欠員が生じた場合は、その対戦は不戦敗になる。

11 登録人員

(1) 団体戦：監督1・コーチ1・マネージャー1 各地区で選抜されたチーム

(2) 個人戦：監督1・コーチ1 各地区で選抜された選手

※ 監督は、当該校の校長・教員、または部活動指導員とする。

※ コーチは、当該校の校長・教員、または部活動指導員とする。

※ マネージャーは、当該校の校長・教員・部活動指導員または生徒とする。

- 1 2 参加申込 (1) 県大会の出場資格を得たものは、地区大会の終了後、所定の用紙等（新潟県中体連HPからダウンロード）を提出してもらうので、準備して大会に参加すること。
- ① 申込書（職印必要）
  - ② 参加料（1人1,000円 \*補員を含む登録選手全員 \*マネージャーは不要）
  - ③ 参加料納付書
  - ④ 宿泊申込書 ※必要な場合のみ
  - ⑤ 指導協力者承認書 ※必要な場合のみ
- (2) 出場校は、6月29日（水）までにメールで①申込書（職印なし）を添付して、上越市立春日中学校 久保 成毅（[kubosige@jorne.or.jp](mailto:kubosige@jorne.or.jp)）に送信する。

1 3 その他 (1) 試合規則・審判規則・試合運営に関すること

①竹刀について

- ・大会当日の検量は行わない。各校の責任で手入れ等を行い、「竹刀安全点検確認表」を受付で提出すること。基準は以下とする。

	性別	中学生
長さ	男女共通	114cm以下
重さ	男性	440g以上
	女性	400g以上
太さ	男性	先端部最小直径 : 25mm以上 ちくとう部最小直径 : 20mm以上
	女性	先端部最小直径 : 24mm以上 ちくとう部最小直径 : 19mm以上

- 竹刀先革の先革の長さは50mm以上とする。

- 柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので白色とする。

- ・不正竹刀を使用した場合は、発見した時点でその選手の負けとする。既得本数は認めない。団体戦の場合、この不正竹刀を使用した選手は、次試合以降も最後まで試合に出場することができない。その場合、補員の起用を認めるが、補員の起用ができない場合は、そのポジションは欠員とする。不正竹刀とは「ビニールやセロテープをまいた竹刀」「異物を挿入した竹刀（異物とは先革のゴム、柄頭のちぎり、鉄片以外の物）」「既定の長さを超える竹刀、重さ・太さの基準に満たない竹刀」「検印等のない竹刀」等を指す。

②つばについて

- ・ 革色または白色、直径9cm以下のものを使用する。それ以外の鏝を使用した場合は、その場で替えさせる。

③つるについて

- ・ 弦の色は白または黄色が望ましい。

④剣道具装着について

- ・ 剣道着や袴への校名や校章の刺繍は、大きさや色を含め華美にならないように配慮する。袴の裾には校章やワッペンを張り付けない。また、校名、校章などの刺繍やワッペン以外はつけない。
- ・ 面紐の長さは、結び目より40cm以内とし、色は赤系統など華美な色は禁止する。
- ・ 面乳革は、黒色または紺色とし、模様等ないもので、20cm以内の長さとする。
- ・ 目印は、幅5cm・長さ70cmのものを着用する。

⑤試合場について

- ・ 役員、審判員、監督、コーチ、マネージャー、選手、補員以外は試合場に入れない。その際はIDカードを着用する。
- ・ 男子の競技中は、女子選手は試合場に入れない。同様に女子の競技中は、男子選手は試合場に入れない。準決勝以降は、当該チームのみが試合場に入れることとする。

⑥ 観戦・応援について

- ・ 保護者の入場数は登録生徒数と同数とする。
- ・ 1チームにつき1名まで、各校校長から承認された「指導協力者」の入場を許可

する。希望する学校は「指導協力者承認書」を大会申込書と合わせて提出すること。

- ・ 指導協力者はフロアでのアップを許可する。監督の資格がないことから、競技が開始された後は、フロアには入場できない。(観覧席での観戦とする。)
- ・ 2日目の個人戦に関しては、出場する選手1名につき、1名までの稽古相手を入場させることができる。この稽古相手は、当該校の校長・教員・部活動指導員・生徒または指導協力者とする。
- ・ 参加する学校の監督は、大会当日の受付時に各学校ごとに入場者名簿(氏名、朝の体温を記入したもの)を提出する。(2日間大会に参加する場合には、1日ごとに入場者名簿を提出する。)
- ・ 監督席に座れるのは、原則として監督のみとする。ただし、自チームの試合が重なり、監督が監督席に座れない場合は、コーチが代理監督として監督席に座ることができる。
- ・ 団体戦での先鋒・大将戦は監督・選手ともに選手席で正座をして観戦する。個人戦においての監督も同じとする。
- ・ 選手交代の際のよけいな動作(握手・胸突きなど)は禁止する。
- ・ 試合場内で、円陣でのパフォーマンスや団体での礼の際のパフォーマンスは禁止する。
- ・ 選手席への時計の持ち込み、サイン等の指示や試合者への声援はしてはならない。応援は拍手のみとする。
- ・ 試合場内への応援旗、部旗、その他試合に関係の無い物の持ち込みは禁止する。

#### ⑦水分補給について

- ・ 勝敗が決するまで行う延長戦においては、2分ずつ区切って行い、延長2分×4回ごとに3分間の面を外しての休息・給水を設けるが、選手の状況を見て審判主任・主審が判断して、休憩を設けたり、給水をとらせたりする場合がある。その際は、指定された場所での給水を認める。

#### ⑧監督とコーチの服装について

- ・ 監督、コーチの服装は白ワイシャツ、グレー(無地)ズボンまたはスカート、エンジのネクタイ、紺色の靴下とする。

#### ⑨試合の進行について

- ・ 新型コロナウイルス感染予防のため、試合前のアップの時間は大会本部で割り当てる。第1日目の朝の時間は、女子のみを割り当てる。男子の割り当てについては、女子団体戦表彰式終了後とする。

#### ⑩組み合わせ・座席表・事前連絡について

- ・ 組み合わせについては、抽選終了後、新潟県中体連のHPに掲載します。事前連絡や座席表についても随時UPしていきますのでご確認ください。

#### (2) 全国大会・北信越大会出場権について

- ・ 本大会は、全国中学校剣道大会(団体戦:男女各1校、個人戦:男女各2名)、北信越中学校総合競技大会剣道大会(団体戦:男女各3校、個人戦:男女各6名)の予選会をかねる。
- ・ 本大会終了後、北信越大会の申込受付を行う。出場資格を得た学校の監督は必要書類を準備して必ず参加すること。